

● 令和元年度 第1回 研修会 『子どもの成長障害』 ●

講師：広島大学病院 小児科 坂田 園子 先生

実施日時：令和元年8月20日（火） 13：30～16：00

会場：呉市保健所 東保健センター

対象者：保育・教育関係者

参加者：46名（養護教諭23名、保育士14名、教諭1名、看護師3名、
保健師4名、保護者1名、）

担当：呉市

● 講演内容

- ① こどもの成長について
食生活・運動・睡眠・遺伝など
- ② 低身長と成長ホルモン分泌不全
正しい身長の評価、成長曲線、精密検査
- ③ SGA 性低身長
SGAの要因、日本での低出生体重児の増加
- ④ プラダーウィリー症候群、ターナー症候群
症状、問題点、治療、成長ホルモンの治療効果について
- ⑤ 思春期の異常、その他低身長をきたす疾患
- ⑥ 成長ホルモン治療の実際について



● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「低身長で気になる児童がいる」

「保護者への指導の参考としたい」

「成長曲線について悩むことがあるため」

<感想>

「低身長に色々な要因があることが分かった」「保護者への支援の仕方など勉強になりました」

「早期発見とその重要性が分かった」「受診を勧めるタイミングについて理解できた」

● 相談員より一言

呉市で成長障害（低身長）の研修会を開催しました。勉強熱心な保育・教育関係者の方に集まっていたいただきました。成長曲線が教育機関での健診にも取り入れられる中、保護者への対応にも悩む関係者にとって有意義な内容でした。低身長の注意点の根拠から実例も加えて大変分かりやすく、参加者から大変好評でした。成長曲線をつけて経過を見ていくことの大切さを改めて感じました。

